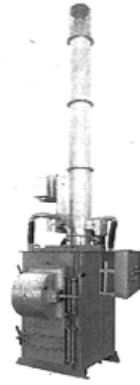


DAITO 廃プラ対応焼却炉 SPZモデル



5月にスイスのジュネーブで開催されたCOP14で決定されたパリ協定条約附屬書改正で、プラスチックゴミに関するパリトナーシップの設立に伴い、汚れたプラスチックゴミが条約の規制対象となり、同附屬書改正が発効する21年以降は、汚れたプラスチックゴミの輸出は相手国の同意が必要となる。従来プラスチックゴミの処理を輸出で

対応することが多かった国内での処理は急務。こうした背景もあり廃棄物焼却炉メーカーのDAITO(本社・愛知県瀬戸市原山町1-4-5、社上⑥)新型の投入扉の採用で本体の隙間から出る未燃焼ガスを大幅にカットした⑦タイマーにより焼却後の冷却運転を行うことで、バーナー等の機器を保護⑧温度調節機能を標準装備。所定の温度を計測し、バーナーのON/OFFすることで温度

が、「SPZ」モデルは「MDZ」モデルの使いやすさをそのままに耐久性と燃焼性が向上した。特徴は①全面開放扉の採用で大きなゴミも楽に投入できる②燃焼用エアのバランスを見直し最適な燃焼を実現した③Wカット集じん室の採用により消煙と塵がさらに削減される④鋼板の厚さ、耐火材壁を厚くすることで耐久性が向上した⑤脚部や扉ヒンジ部への補強鋼材を用いることで強度向上⑥新型の投入扉の採用で本体の隙間から出る未燃焼ガスを大幅にカットした⑦タイマーにより焼却後の冷却運転を行うことで、バーナー等の機器を保護⑧温度調節機能を標準装備。所定の温度を計測し、バーナーのON/OFFすることで温度

管理を省力化した。

なお同製品は、焼却炉の構造に関する全ての法規制に適合しており、使用者に行政からの指導があった場合、同社が全て責任を負う構造基準適合保証を行っている。また購入に際して、中小企業経営強化税制による税制優遇の適用も可能。

価格についての問い合わせは「お客様窓口」フリーダイヤル⑨0120-12113136まで。